

## 議 事 の 経 過

議長	議事 性の多様性に関する上尾市の取組の現状の課題について
事務局説明	資料に基づいて説明。
議長	他の自治体の事例で『続柄を変更できる』とはどういうことか。
事務局	続柄の記載は各自治体の裁量になっているため、自治体の判断により変更も可能ということである。
議長	上尾市においても、続柄の記載を変更できるということか。
事務局	当市の所管課である市民課の、現在の認識は資料のとおりである。
委員	上尾市ではパートナーシップ・ファミリーシップ制度の利用者が19組いるとのことだが、この方たちの希望は聞いたのか。
事務局	アンケート等、意見の聞き取りについて検討する。
委員	上尾市での制度利用者への聞き取りがこれからということは、資料(5)の2Pの「当事者の声」は上尾市の当事者ではないという認識でいいのか。
事務局	公表されている資料等から引用したものであるので、上尾市の当事者の意見ではない。
委員	大村市の取り組みに関する報道が出たばかりであるので具体的な内容はこれからかもしれないが、総務省の記者会見の中で「(自治体からの)照会があればもちろん丁寧に回答していきたい」との内容があった。上尾市が質問しても丁寧な回答が得られるのであろうか。
事務局	報道されている範囲での認識となっている。
委員	総務省の懸念している点は、社会保障サービスについて、住民票の続柄の記載によって判断するものもあり、事務が煩雑になってしまうことであると思う。上尾市の窓口所管課の感覚はどのようなものか。混乱が大きいのか、それほどでもないのか。上尾市において、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の運用が約3年間で宣誓が19件という数も鑑みて、どのような感覚であるのか。
事務局	現在、住民票上の続柄の記載に関係する市民課の意見を聞いた段階である。実際の各サービスを所管している担当課の意見は把握していない。
議長	議事 「第25回あげおヒューマンライツミーティング21」について
事務局説明	資料に基づいて説明。
議長	これまでの実施形式を大変幅に変更するということに理解した。色々な人に来てもらいたい、いろいろな人権について知ってもらいたいと思う。

	何か意見はありますか？
委員	開催まで残りあと5か月になるが、聖学院大学にもダンスチームがあるため、声をかけてみたいと思う。今後のスケジュールについて知りたい。
事務局	現段階で出演できるとしても残り1団体程度である。 ポスターに内容を反映するには9月14日までに原稿提出しなければならない。今年は難しいかもしれないが、来年以降、継続的に検討できればと思う。
委員	大学内で検討し8月中には連絡します。
事務局	ありがとうございます。
委員	去年は65周年記念事業となっているが、特別に実施したことはありますか？
事務局	65周年に限ったことではないが、昨年度新たに行ったこととして、聖学院大学との官学間連携事業として「パープルリボンプロジェクト」を行った。学生にポスターを作成してもらい、表彰した。 また、事務局が作成したポスターやチラシデザインを刷新したということが65周年記念ということになる。
委員	上尾駅から三井金属あげおコミュニティセンター（上尾市コミュニティセンター）まで徒歩で行くとどのくらいかかるのか。
事務局	個人差にもよるが、駅からセンターまで10分程度と認識している。
委員	様々な世代が来ることに配慮し、駅からバスでの送迎を行うなど検討したらどうか。 司法書士や行政書士の相談コーナーを設けたらどうか。
委員	個人的に免許を返納してしまっているのでも、行くとしたらバスになる。ポスターやチラシにバスの案内を明記したらどうか。
事務局	意見があった通り、昨年度のポスターには「駐車場に限りがある」と記載したが、冷たい印象と捉えられてしまう可能性もある。交通方法の表示など検討していきたい。
委員	ダンスやバトントワリングの発表を通して、子の親や親族が来場するため、とても良いと思う。 まだ参加したことがないため、会場の規模が分からないが、あげお産業祭のように出店の出店なども検討されたらどうか。
事務局	今まではセンターの中でマルシェなどを行っていたが、今年度は出店への依頼や警察協力を依頼し、パトカーなどの展示も検討している。
委員	ゆるキャラは参加しますか。

事務局長	事務局	市キャラクターのアップीや人権イメージキャラクターの「人KEN まもる君」「人KEN あゆみちゃん」も参加する。昨年度も参加していたが、ポスターに記載がなかったため、今年度はポスターに記載予定である。
委員	事務局	楽しい感じがイメージ出来てよい。開催時間も10:30からということで長くなった。冬になると日が暮れる時間が早まるので、早めに終了してほしいという意見も聞いたことがある。
委員	事務局	出店団体から「買い求める時間が短いのではないか」と意見があった。出演団体も楽しみ、くつろげる時間を設けられるよう開始時間を早めに設定している。 子どもたちの出演や表彰は早い時間に実施し、「防災と男女共同参画」の講義をイベント後半に行い、市民だけでなく、職員研修も兼ねた講義を検討中である。
議長	委員	大規模に変更するという点は称賛したい。若年層にもぜひ参加してもらいたい。
議長	事務局説明	報告事項 上尾市人権施策事業計画書（第3次改訂）について 資料に基づいて説明。
委員	委員	達成状況がどこまでいっているのか。7割程度、3割程度なのかわかるようにしてほしい。
委員	事務局	達成状況については、単年度の状況を報告書で示している。 それぞれの事業担当課に実績報告を依頼する際に前年度比の評価項目を設けるなど検討する。
委員	委員	進捗状況でもよいと思う。
議長	事務局説明	報告事項 令和6年度人権施策事業報告（令和5年度事業）について 資料に基づいて説明。
委員	委員	P25「成年後見制度利用支援事業」について項目が2つあり、件数が異なる。
委員	事務局	資料不備のため、訂正した正確なものを公表する。
委員	委員	上尾市人権施策事業計画書（第3次改訂）P11について、実施と—の見方について。
委員	事務局	5年に1回、4年に1回などの計画改定になっているもののため、毎年実施するものでなく、実施と記入されている年に業務及び評価を行う。
委員	委員	地域が崩壊しているように感じている。コミュニケーションが不足しているなど要因があると思うが、そのような問題などについても事業計画に盛り込

	<p>んでほしい。外国人市民が増えている。雇用状況の拡大により、増大していくと思う。</p>
事務局	<p>地域における重要な課題だと認識している。福祉総務課で「上尾市地域福祉活動計画」を策定している。意見を現課に共有していく。 また、外国人の人権については当課の課題であるが、庁内の連携をとりつつ、市民協働推進課に共有していく。</p>
議長	<p>子育てがしやすい地域について考える機会があった。地域で「みんなで育てる」という話になる。地域には子育てや高齢者のことなど課題が多いが、みんなで支え合ってやっていく地域になったらよいと思う。</p>
委員	<p>昔は親よりも地域で育てられたという感じがある。虐待や犯罪予防にも繋がってくると思う。</p>
委員	<p>団地に住んでいるが、全体的に住民が高齢になっており、自治会に入らない人が増えている。自治会は自主的な組織のため、強制はできない。 外国人市民のために市民協働推進課がチラシを作成している。 ゴミ出しなどでトラブルがある。</p>
議長	<p>それぞれの文化の違いなどがある。住みやすい、子育てしやすい地域になっていけばよいと思う。</p>
議長	<p>報告事項「人権に配慮した市役所になるための手引き」について</p>
事務局説明	<p>資料に基づいて説明。</p>
委員	<p>昨今の報道で「公益通報者保護法」が取りざたされている。相談窓口について手引きにも盛り込んだ方がよい。周知が必要なのではないか。</p>
事務局	<p>総務課が対応していると認識している。管理職を中心に研修を行い、所属に伝える方法で全職員に周知している。 内部通報システムを作る際に相談窓口が庁内にしかないと相談しづらいなど弊害があると意見が出たため、内部を通さない第三者に相談するというシステムも確立され、職員の不利益にならないようになっている。 上尾市人権施策事業計画のP.12 職員に対する人権研修の項目の中に当該内容が含まれているかは現課に確認する必要がある。 本手引きは市民対応においての人権への配慮が趣旨であるため、次回改定時に盛り込むか検討したい。</p>
委員	<p>本手引きは市民対応においての人権への配慮の手引きのため、職員の労働者としての人権も重要であるが、手引きの内容とは別問題であると考える。</p>
議長	<p>手引きの内容とは異なるが、正規職員だけでなく、会計年度任用職員の個人の経験や知識の差によって、支援方法や物事の進み方が異なるため、研修や業務共有などを行ってほしい。</p>
事務局	<p>会計年度任用職員も市の施策を担うことに変わりはない。手引きや施策の周知を今後も行っていく。</p>

議長

これで議事は全て終了しました。  
進行を事務局に戻します。

【閉会】